

日本
共産党

八幡市議会 報告ニュース

くらしの相談 お気軽に

山本邦夫市議	982・8844
巖 博市議	982・9663
亀田優子市議	982・1277
中村正公市議	983・8312

2017年5月21日 No.617 連絡先 日本共産党八幡市議会議員団(983)2005
市議会ホームページ <http://park19.wakwak.com/~jcp-ywta/> メール jcp-ywta@am.wakwak.com

八幡市

国民健康保険

急速に財政改善

後期高齢者医療に移行 入院費用など減少 医療給付費が大きく減少

16日の八幡市臨時議会での補正予算案審議の中で、高齢化に伴う後期高齢者医療への移行などにより、八幡市の国民健康保険の財政が急速に改善していることが判明しました。

補正予算審議で判明

臨時議会では、2016年度の一般会計、国保会計の最終補正が審議され、医療の療養給付費が改善され、従来の赤字補てんのために一般会計から繰り入れていた6000万円が不要となり、減額されました。

2016年度の国保会計では、赤字補てんのために一般会計から6000万円を繰り入れ、それ以外の赤字相当分は「繰り上げ充用」という形で2億0580万円を、次年度から借り入れる形をつじつまを

今後の値下げ財源として活用を

合わせていました。

今回の補正では、国保の最終決算で2億6600万円の黒字となる見通しのため、「繰り上げ充用」と一般会計からの繰り入れによる補てんをなくすことができました。

療養給付費の減少要因について、市は、①高齢化による75歳以上の後期高齢者医療への移行が進んだこと、②入院などの給付が減ったことをあげています。

八幡市の国保会計では、2018年度に京都府の広域化による移行に備えた準備基金3億円があります。しかし、赤字解消の見通しで、この基金を補てんに充てる必要がなくなりました。今後、この基金を、高すぎる国保料の値下げに充てる財源として活用することが必要です。

八幡市議会

議長など新体制決める 議会運営に課題

八幡市臨時議会で、正・副議長、監査委員などの議会人事、議会運営委員会、3つの常任委員会、特別委員会の構成が決まりました。日本共産党議員団の所属委員会などは右欄を参照してください。

日本共産党は民主系と並ぶ最大会派の一つですが、今回の議会人事では市長与党を中心とする会派が、水面下での人事選考に終始しました。こうした人選は、今後の議会運営に課題を残します。

☆日本共産党市議団の構成

議会運営委員会	亀田、山本議員
総務委員会	山本議員
文教厚生委員会	中村、亀田議員
都市環境委員会	巖議員(副委員長)
庁舎整備特別委	亀田、山本議員
＜一部事務組合の議員＞	
城南衛生管理組合	亀田議員

＜議会の新三役＞議長：森川信隆議員、副議長：菱田明儀議員、監査：山田芳彦議員